

福岡工業大学研究論集テンプレート

— サブタイトル —

福 岡 太 郎 (大学院電気工学専攻)

山 田 花 子 (電子情報工学科)

和 白 一 郎 (**大学**学科)

Fukuoka Institute of Technology Research Bulletin Template:

Subtitle

FUKUOKA Taro (Graduate School of Electrical Engineering)

YAMADA Hanako (Department of Information Electronics)

WAJIRO Ichiro (Department of **, ** University)

Abstract

The abstract body should be in Times New Roman, 10 point and about 100 words. The abstract body should be in Times New Roman, 10 point and about 100 words. The abstract body should be in Times New Roman, 10 point and about 100 words.

Keywords: *About five key words in order of importance, separated by commas. Use italics and 10 point.*

1 和文原稿の作成概要

原則として本テンプレートに準拠した LaTeX または Microsoft Word により原稿を作成すること。詳細は「福岡工業大学研究論集の投稿の手引き」を参照すること。

- (1) 作業中に書式が乱れた場合以下を参考にできるだけ、見栄えがこのテンプレートに似たようなものになるようにする。
- (2) 用紙サイズは、A4 とする。
- (3) 表題と著者名は和文と英文の両方を記載し、英文表題は主要な単語の先頭文字のみを大文字とする。
- (4) Abstract (先頭文字のみ大文字) は英文で 100 words 程度 (10 pt.) とし、文頭を少し空ける。
- (5) Keywords: (Bold) は 5 個程度で、イタリック表記。
- (6) 1 ページ目の表題から Keywords の下 (空行 1) までも 1 段組みとする。余白は上 35mm, 下 30mm, 左 25mm, 右 25mm とする。

- (7) 本文 (9 pt.) は 2 段組みとし、1 ページは 49 行、1 行 26 文字とする。2 段組みの余白は上 35mm, 下 30mm, 左 15mm, 右 15mm とする。
- (8) 字体は MS 明朝で、英数字は原則として Times New Roman とし、半角を用いる。
- (9) 文頭、改行の冒頭は 1 文字あける。
- (10) 句読点は全角の “,” と “。” を使用する。
- (11) 参考文献は原則として上付きの添え字として、¹⁾ または ^{2,4-7)} とするが当該学問分野の表記でも可。

2 見出しと式

2.1 章・節・項等の見出し

原則として章・節・項の見出しは左揃えとし、番号は半角で Times New Roman を使用する。各番号の後を全角 1 文字分空ける。章は上下空行 1 で、節は上空行 1 で下空行なし、項の上下は空行なしとする。

1. ... (章は上下空行 1)

1. 1 ... (1. と 1 の間を半角空ける。節は上空行 1 で下空行なし)

1. 1. 1 ... (項は上下空行なし)

(1) ... または (a) ... など

(2) ...

1. 1. 2

(1) ... または (a) ... など

2.2 式の挿入 (節は上空行 1 で下空行なし)

式の番号は、(1), (2), (2. 1), (2. 2) のように通し番号 (9 pt. 程度) とする。

3 図・グラフ・写真の挿入

(1) 図・グラフ・写真の番号は同一の通し番号とし、図・グラフ・写真の「下側」にタイトルを記入。

(2) 図 1 の番号 1 の後に “.” を入れない。Fig. 1 の Fig. と 1 の間を半角空ける。

(3) 図等のタイトル文字の大きさは同一論文で統一する (9, 10 pt. 程度)

(4) 図 (または Fig.) は Microsoft Word または PowerPoint で、グラフは Microsoft Excel で描いて、写真はデジカメやスキャナーで取り込んで、保存し、後でコピーして Word 文書に貼り付けると編集しやすい。

4 表の挿入

(1) 表 (または Table) の番号は通し番号とし、表の「上側」にタイトルを記入。

(2) Table 1 の番号の後に “.” を入れない。Table と 1 の間を半角空ける。

(3) タイトルの文字の大きさは同一論文で統一する (9, 10 pt. 程度)

(4) 表は Microsoft Excel 上で描いて保存しておき、後で Word 文書に貼り付けると編集しやすい。

5 英文原稿の作成概要

(1) 原則としてこのテンプレートをコピーして使用し、1 ページ目の和文表題を削除して英文表題を 16 pt. とする。

(2) 本文 (9 pt.) の字体は原則としてすべて Times New Roman とする。数字は半角を用いる。

(3) 見出し番号等は和文原稿の書き方に準じる。

(4) 句読点は半角の “,” と “.” を使用する。

6 投稿時の提出物

(1) 印刷原稿は、正副各 1 部。

(2) 電子原稿は、電子メールの添付ファイル (PDF 不可) もしくは外部メディア (CD-R 等) を 1 枚。外部メディアの場合は、ラベルに「提出日・論文タイトル・学科 (所属) 名・著者名」を記載。

(3) E-mail: tosy@fit.ac.jp

7 原稿の締切りと提出先

(1) 締切日は第 1 号を 5 月末日、第 2 号を 10 月末日。

(2) 提出先は附属図書館。

参考文献

1) 山田太郎：メディア情報処理の一手法，福岡工業大学研究論集，第 40 巻，第 2 号，pp. 234-238, 2008.

2) 山田太郎：ロボットの音声認識法の検討 1，平 19 九支連大，12-1A-03, 2006.

3) 山田太郎：ロボットの音声認識法の検討 2，信学論，Vol. 40, No. 7, pp. 345-349, 2007.

4) 山田太郎：音声認識，**出版，頁，平成 15 年.

5) T. Yamada, Y. Tanaka and K. Suzuki : Minimum drift architecture for Neural Networks, IEEE Trans., Vol. 40, No. 5, pp. 153-158, 2007.

(1) 主要論文誌・雑誌の略記は、「福岡工業大学投稿の手引き」を参照する。当該学問分野の略記でもよい。

(2) 9 pt. で記述する。“,” の後は半角空ける。

(3) 原則として上記の文献記載 (著者名：タイトル，論文誌，巻，号，頁，西暦) とするが当該学問分野の表記でもよい。

付録がある場合は、参考文献の後に記述。